**記載例**

土砂災害に関する避難確保計画

施設名：●●●●●

令和４年１月１日作成

（令和　　年　　月　　日改訂）

**目　次**

＜目次＞

１．計画の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．計画の報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

３．計画の適用範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

４．防災体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

５．情報収集及び伝達　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

６．避難誘導　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

　　施設周辺の避難経路図　・・・・・・・・・・・・・・・・　５

７．避難の確保を図るための施設の整備　・・・・・・・・・・　６

８．防災教育及び訓練の実施　・・・・・・・・・・・・・・・　６

別添資料（五條市への提出不要）

▼　防災教育及び訓練の年間計画　・・・・・・・・・・・・・　別添１

▼　施設利用者緊急連絡先一覧表　・・・・・・・・・・・・・　別添２

▼　緊急連絡網　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　別添３

▼　外部機関等への緊急連絡先一覧表　・・・・・・・・・・・　別添４

▼　対応別避難誘導方法一覧表　・・・・・・・・・・・・・・　別添５

▼　防災体制一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　別添６

**１．計画の目的**

この計画は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（以下、「土砂災害防止法」という）第８条の２に基づくものであり、本施設近隣で土砂災害の発生又は発生のおそれがある場合に対応すべき事項を定め、土砂災害から円滑かつ迅速な避難を図ることを目的とする。

またこの計画に基づき、安全な避難行動を確実に行うことができるよう防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して土砂災害に関する知識を深めるとともに、必要に応じてこの計画を見直していくものとする。

**２．計画の報告**

計画を作成または必要に応じて見直し・修正をしたときは、土砂災害防止法第８条の２第２項に基づき、遅滞なく、当該計画を五條市長へ報告する。

**３．計画の適用範囲**

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況（人数）】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平日 | 休日 |
| 利用者 | 施設職員 | 利用者 | 施設職員 |
| 昼間 | 約２０名 | 　　８　名 | 約　４　名 | 　　２　名 |
| 夜間 | 約　４　名 | 　　２　名 | 約　４　名 | 　　２　名 |

※利用者は最大の利用者数を記載

・利用者数は、おおよその記載も可能です。

・夜間の時間に決まりはありません。利用者数や施設職員数に変動がある時間帯で区別してください。

　※夜間は１９：００～が目安

　【事前休業の判断について】

　以下の場合は臨時休業とする

例①）大型台風の襲来が予想される場合で、公共交通機関の計画運休が予定されている場合、通所部門は臨時休業とする。

例②）午前８時の時点で、五條市（北部）（南部）に以下のいずれかが発表されている場合、通所部門は臨時休業とする。

「暴風警報又は特別警報」、「大雨警報又は特別警報」、「洪水警報」

事前に休業の判断を行う場合は、判断基準を記載しておきましょう。

**４．防災体制**

施設の実情に応じて

活動内容や対応要員を記入してください。

　防災体制確立の判断時期に基づき、注意、警戒、非常の体制をとり、避難誘導活動等の活動を行う。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 体制確立の判断時期 | 活動内容 | 対応要員 |
| 注意体制 | 以下のいずれかに該当する場合・大雨又は台風に関する気象情報発表・「大雨注意報」発表 | 気象情報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 警戒体制 | 以下のいずれかに該当する場合・施設の町名に「高齢者等避難」の発令・「大雨（土砂災害）警報」発表・土砂災害の前兆現象が確認された場合 | 気象予報等の情報収集 | 情報収集伝達要員 |
| 使用する資機材の準備 | 避難誘導要員 |
| 家族等への事前連絡 | 情報収集伝達要員 |
| 周辺住民への事前協力依頼 | 情報収集伝達要員 |
| 要配慮者の避難誘導 | 避難誘導要員 |
| 非常体制 | 以下のいずれかに該当する場合・施設の町名に「「避難指示」の発令・「土砂災害警戒情報」発表・土砂災害の前兆現象が確認された場合 | 施設内全体の避難誘導 | 避難誘導要員 |

※上記のほか、施設の管理権限者の指揮命令に従うものとする。

【土砂災害の前兆現象】

・地鳴りがする　　　　　・崖に割れ目ができた　　　・崖からの水が濁りだす

・崖の樹木が傾く　　　　・崖から水が湧き出てきた　・斜面が膨らみだす

・雨が降っているのに河川の水位が急に下がった　　　・崖から小石がパラパラと落ちてくる　等

**５．情報収集及び伝達**

（１）情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 収集する情報 | 収集方法 |
| ・気象情報 | 気象庁ホームページ、テレビ（ニュース速報、データ放送等）、ラジオ　等 |
| ・土砂災害警戒情報 | インターネット（情報提供機関のウェブサイト）　・奈良県土砂災害・防災情報システム　・気象庁ホームページ「土砂災害警戒情報」　等 |
| ・避難情報【高齢者等避難、避難指示】 | 防災行政無線、緊急速報メール、インターネット（市役所のウェブサイト）、テレビ、ラジオ　等 |

・停電時は、ラジオ、タブレット、携帯電話等を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、乾電池、バッテリー等を備蓄する。

・提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況、斜面に危険な前兆が無いか等、施設内から確認を行う。

（２）情報伝達

　　別添３「緊急連絡網」に基づき、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。

　　利用者を避難させる場合には、別添２「施設利用者緊急連絡先一覧表」に基づき、利用者家族に対し、

　　・「△△小学校（避難場所）へ避難する。」

　　・「利用者の引き渡しは△△小学校（避難場所）において行う。」

　　・（避難の完了後、）「避難が完了した。○○時頃より△△小学校（避難場所）において利用者の引き渡しを行う。」

旨を連絡する。

**６．避難誘導**

　避難誘導については、次のとおりとする。

（１）避難場所、移動距離及び手段

　　避難場所は、下表とする。

　　施設が倒壊するおそれがある場合は立退き避難（水平避難）を行う。夜間など緊急でやむを得ない場合は屋内安全確保（垂直避難）を図るものとする。その場合は、備蓄物資を用意する。

　　また、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

|  |
| --- |
| 立退き避難（水平避難）の場合 |
|  | 避難場所名称 | 移動距離 | 移動手段 |
| 避難場所１ | ○○○○（系列施設） | １．５ ｋｍ | ・徒歩・車両２台 |
| 避難場所２ | △△小学校 | ５００ ｍ | ・徒歩 |
| 屋内安全確保（垂直避難）の場合 |
|  | 建物名称 | 避難階 | 移動手段 |
| 屋内安全確保 | 本施設（会議室） | ３ 階 | ・エレベーター・ストレッチャー |

災害の種別によって開設する避難所が異なります。避難所へ避難する場合は、防災マップ等でどの避難所が開設するかを確認しましょう。２階以上など、屋内で安全が確保できる場合には無理に外へ避難する必要はありません。

（２）避難経路

　　避難場所までの避難経路については、【施設周辺の避難経路図】のとおりとする。

（３）避難誘導方法

　　避難場所までの避難誘導方法は以下のとおりとする。

　・施設外の避難場所に誘導するときは、避難場所までの順路、道路状況について説明する。

　・避難誘導にあたっては拡声器、メガホン等を活用し、先頭と最後尾に誘導員を配置する。

　・避難誘導員は、避難者が誘導員と識別しやすく、また安全確保のための誘導用ライフジャケットを着用する。

　・避難する際には、ブレーカーの遮断、ガスの元栓の閉鎖等を行う。

　・浸水するおそれのある階または施設からの退出がおおむね完了した時点において、未避難者の有無について確認する。

赤字の記載例を参考に施設の状況に合わせ、作成してください。

**【施設周辺の避難経路図】**

　土砂災害のおそれがある場合の避難場所、避難経路は以下のとおりとする。

避難経路図

立退き避難（水平避難）をする場合は、施設から避難場所までの避難経路を地図でお示しください。

※施設の位置、避難場所の位置、避難経路、移動手段（徒歩、自動車等）を記載

避難場所については、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

**７．避難の確保を図るための施設の整備**

　情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資機材等については、下表「避難確保資機材等一覧」に示すとおりである。

施設の実情に合わせた備蓄内容を記入してください。

　これらの資機材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資機材等一覧

|  |
| --- |
| **備　蓄　品** |
| 情報収集・伝達 | テレビ、ラジオ、タブレット、ファックス、携帯電話、懐中電灯、電池、携帯電話用バッテリー |
| 避難誘導 | 名簿（従業員、利用者等）、案内旗、タブレット、携帯電話、懐中電灯、携帯用拡声器、電池式照明器具、電池、携帯電話バッテリー、ライフジャケット |
| 施設内の一時避難 | 水（１人あたり９ℓ）、食料（１人あたり９食分）、寝具、防寒具 |
| 衛生用品 | おむつ、おしりふき、タオル、ウェットティッシュ、マスク、ゴミ袋 |
| 医薬品 | 常備薬、消毒液、包帯、絆創膏、体温計 |
| その他 | ブルーシート、発電機、蓄電池、延長コード、ポリバケツ |

|  |
| --- |
| 土砂災害に対する避難を確保するための対策※ |
| 自家発電機　、　壁の補強　、　非常用サイレン（屋外設置）　、　○○○○ |

※事前の対策

**８．防災教育及び訓練の実施**

　毎年４月に新規採用の従業員を対象に研修を実施する。

　毎年５月に全従業員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。

　その他、年間の教育及び訓練計画を毎年４月に作成する。

**別添１　防災教育及び訓練の年間計画作成例**

**※既存の消防計画等がある場合は、それに追加してもよい。**

**避難確保計画の作成＝防災体制の確立**

**五條市への提出不要**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

情報収集伝達要員・避難誘導要員の任命や外部からの支援体制等を確認し、避難確保計画に反映します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

○避難確保計画等の情報の共有

○過去の被災経験や災害に対する知恵の伝承　など

従業員への防災教育

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

○土砂災害の危険性や避難場所の確認

○緊急時の対応等に関する保護者、家族への説明　など

施設利用者への防災教育

通所施設

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

○従業員の緊急連絡網の試行

○保護者への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行　など

情報伝達訓練

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

○保護者の緊急連絡網の試行

○連絡後、全施設利用者を保護者に引き渡すまでにかかる時間の計測　など

保護者への引き渡し訓練

入所施設

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

情報伝達訓練

○従業員の緊急連絡網の試行

○家族等への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行　など

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

○従業員の緊急連絡網の試行

○連絡後、全従業員の参集にかかる時間の計測　など

従業員の非常参集訓練

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

避難訓練

○防災体制と役割分担の確認、試行

○施設から避難場所までの移動にかかる時間の計測　など

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施予定月日 | （ |  | 月 |  | 日） |

避難を円滑かつ迅速に確保するために、避難確保計画に基づく訓練を実施し、必要に応じて計画を見直します。

**避難確保計画の更新**

**別添２　施設利用者緊急連絡先一覧表**

**※既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。**

**五條市への提出不要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設利用者 | 緊急連絡先 | その他（緊急搬送先等） |
| 氏名 | 年齢 | 住所 | 氏名 | 続柄 | 電話番号 | 住所 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

**別添３　緊急連絡網**

**※既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。**

**五條市への提出不要**

メールや災害用伝言ダイヤル（171）を利用した連絡方法も確立しておくと便利です。

上段に「氏名」、

下段に「連絡先（電話番号）」

を入れてください。

|  |
| --- |
| 施設長 |
| 012-3456-7890 |

|  |
| --- |
| 事務長 |
| 012-3456-7890 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ○○　○○ |  | ○○　○○ |  | ○○　○○ |  | ○○　○○ |
| 012-3456-7890 | 012-3456-7890 | 012-3456-7890 | 012-3456-7890 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**別添４　外部機関等への緊急連絡先一覧表**

**※既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。**

**五條市への提出不要**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 担当部署 | 電話番号 | 備考 |
| 市町村（防災担当） |  |  |  |
| 市町村（福祉担当） |  |  |  |
| 消防署 |  |  |  |
| 警察署 |  |  |  |
| 避難誘導等の支援者 |  |  |  |
| 医療機関 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**別添５　対応別避難誘導方法一覧表**

**※既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。**

**五條市への提出不要**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 連絡先 | 対応内容 | 移動手段 | 担当者 | 備考 |
| 立退き避難 | 屋内安全確保 |
| △△　△△ | 012-3456-7890 | １ | 徒歩 | 階段 | ○○　○○ | 要介護１ |
| △△　△△ | 012-3456-7890 | ４ | 自動車 | エレベーターストレッチャー | ○○　○○ | 要介護５ |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

該当番号を記入

**避難場所へ移動**

　１.単独歩行が可能　２.介助が必要　３.車いすを使用　４.ストレッチャーや担架が必要

　５.そのほか

**そのほかの対応**

　６.自宅に帰宅　７.病院に搬送　８.そのほか

**別添６　防災体制一覧表**

**※既に防災体制を確立している場合はそれを活用してよい。**

**五條市への提出不要**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 監理権限者 | （ | 施設長 | ） | （代行者 | 事務長 | ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **情報収集****伝達要員** | 担当者 | 任　務 |
| 班長（ | 管理職員 | ） | ・状況の把握・情報内容の記録・館内放送等による避難の呼び掛け・洪水予報等の情報の収集・関係者及び関係機関との連絡 |
| 班員（ | 〇 | ）名 |
| ・・・・ | 〇〇　〇〇〇〇　〇〇〇〇　〇〇〇〇　〇〇 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **避難誘導****要員** | 役職及び氏名 | 任　務 |
| 班長（ | 管理職員 | ） | ・避難誘導の実施・未避難者、要救助者の確認 |
| 班員（ | 〇 | ）名 |
| ・・・・ | 〇〇　〇〇〇〇　〇〇〇〇　〇〇〇〇　〇〇 |